

コロナ禍「前後」で何が変わったのか？



富澤一利 取締役副会長

「感謝カード」を自宅に郵送
——シニア経理財務の回答

シニア人材の教育（今日、行くところ）と教養（今日、用があるところ）の機会を創出するシニア経理財務の回答は、富澤一利取締役副会長。

——今回のコロナ禍における事業への影響はありましたでしょうか。
受注面では、売上前年比（1～7月）5%減と影響を受けました。

また顧客企業対応では、コロナ禍による派遣先様の売上大幅減少に伴い、1月比2社の契約終了の申し出がありました。

——人材対応（派遣の場合はスタッフ、紹介の場合は候補者に対して）とその対策（同）については、どのような対策を取られましたか。

したか。

登録の来社面接が通常月は平均10人ぐらいですが、それに比べると大幅減となりました。外出自粛のため、3月の面接は0人、4月は4人、5月は0人でした。

勤務している派遣スタッフから、公共交通機関での通勤による感染リスクを警戒して退職の申し出がありました。それは全体の8%を占めました。その派遣スタッフの退職に伴う交代要員の手配（派遣先への短時間通勤可能者の人選）で思わぬ時間が掛かりました。

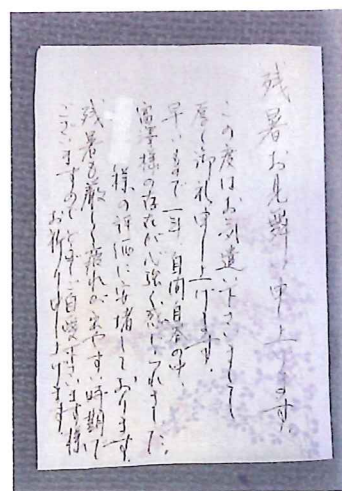
——独自で行っているコロナ対策などはありませんか。

店頭でマスクがまったくなかった4月に、すべての派遣スタッフにマスクを30枚配布しましたが、大変喜ばれました。

——ウィズコロナ、ニューノーマルともいわれる中、これからの事業展開におけるビジョンや抱負をお聞かせください。

コロナの環境下でも弊社の特徴である「シニアの経理経験者の派遣」を希望する会社様の問い合わせが増えていきます。

直近では、大阪で創業72年のメーカー様から「メーカー経験がある経理のスペシャリスト」を要請されました。本来であれば大阪に向向くのですが、コロナ禍での移動自粛もあり、今回は求人企業の担当者とWeb面談を行いました。さらに派遣スタッフとの登録面接も



派遣スタッフから届けられたお礼の葉書

Webで実施し、9月から勤務開始が決定しました。

他にも名古屋、仙台、札幌からも問い合わせがありました。今後は、先日の大阪のWeb対応のように距離を気にすることなく、全国を視野に入れた求人企業と求職者との密接な対応も可能となることが分かりましたので、さらなるマッチングで社会貢献したいと考えています。

当社では就業して1年以上の派遣スタッフには、図書カードを入れた手書きの「感謝カード」を贈っています。今までは派遣先に出向き、派遣スタッフに直接手渡していました。今回は新型コロナウイルスの影響で、自宅への郵送となりましたが、派遣スタッフからはお礼の電話、メールをいただきました。中にはご丁寧に「お葉書」をお送りいただいたケースもあり、あらためて感謝しております。